

3階テラスに設置した幼児プールのすぐ隣で2歳児クラスは水遊びをしています。

泡をたくさん作って洗濯ごっこや、普段部屋で遊んでいるプラスチック製の動物を大きめの容器に水と一緒に入れ凍らせて「氷の中から出してあげなきゃ」「溶けちゃったらでてきたね」とかわいい発見を楽しんでいました。

水遊びに夢中になりながらも、隣のプールからダイナミックにあがる水しぶきや楽しくて出てくる大歓声に遊びが一瞬でとまり開いた口がふさがらない様子もとても微笑ましい光景でした。

今年の夏は猛暑もありながらも雨で気温が上がりにくい日もあり、天候に振り回されることもありましたが、工夫を凝らし夏らしい経験がたくさんできました。そして園庭やテラスではたくさんの夏野菜を育てました。テラスで水遊びをしている横でも子どもたちがプランターで育てているピーマンにもあふれるくらい水やりをたくさんしました。お世話のかいもあり、育てた夏野菜がとても豊作で連日たくさん収穫し、普段は食べなくても「お店で買うのよりおいしい」ともりもり食べました。今月も暑さはまだまだ続くと思いますが、秋の気配を探しながら身体と心をたくさん動かして過ごしていきます

行事予定

引き渡し訓練 全クラス

0歳児健診(0歳児)

※身体計測 全クラス



子どものつぶやき (1歳児クラス)

収穫したピーマンを見ていた時、ピーマンの種をみつけて
「みてみて、ピーまんのこめ！」

ほんとに食べてる！！

事務所の網戸に突然現れたカマキリを捕まえ、虫が大好きな3歳児クラスに持っていくと子どもたちは大喜び。クラスで飼育することになりました。カマキリの動きを観察していると、「カマキリって何食べるの？」という疑問が上がりました。「生きたものしか食べないんだよ」と担任が伝えると、「喉が渴いたら可哀そう」「何かあげた方がいい」と園庭の葉やおやつのスイカの皮をあげて様子を見ましたが、残念ながら口をつけないままでした。園庭にも餌になるような虫は見つからず、2日が過ぎカマキリは絶食状態になり子どもたちも「おなか空いているよね」心配そうでした。夕方、担任が近くの公園に行き蝶を捕まえ、飼育箱へ入れると、「あっ！目が動いたよ」「あっ！手が動いた！」と飼育箱に釘付けになりました。するとその時、勢いよくカマ(手)を振り上げ、蝶を捕まえ、モグモグと食べ始めました。その迫力ある光景に子どもたちは真剣な表情で見入っていました。

この出来事をきっかけに「何の虫が好きかな」「食べない虫もいるのかな」と子どもも保育士もリアルな虫の世界への興味や探求心が一段と深まってきました。

これからも日々の直接的な経験から生まれる発見や学びを大切に育んでいきます。(副園長)



夏の遊びを楽しみました

3.4.5 歳児クラス編

3歳



今年は保育園のプールに初めて入りました。最初の頃は水しぶきが顔にかかるのが嫌な様子でしたが、今では毎回行う水の掛け合いが楽しみの一つになっています。後ろ向きになり、水しぶきを浴びると「きゃあ〜」と楽しそうな声がプールに響き渡ります。肩まで水につかって数を数えるお風呂ごっこ、アヒル、カエル、ワニ、シャチ、ラッコなど、様々な動物になってくぐるフープやシャワーのトンネル、貝殻拾い…。いろいろな遊びを通して水に親しくなり、毎朝「今日、プール入る？」と楽しみにする姿が出てきました。

プール最後の日には水面への顔付けに自分から挑戦する姿も見られました。

幼児クラスになって様々な『初めて』がありますが、プール活動のように「楽しい」「もっとやりたい」と感じる経験をこれからも積み重ねていきたいと思います。



4歳



部屋の前のテラスで色水遊びをしました。赤、青、黄、白の色水をタライに用意すると、最初は単色でボトルに入れ、その後は好きな色をボトルに入れて混ぜています。「こんな色になった!」「この色きれいでしょ」と、出来上がった色のボトルを並べて嬉しそうに眺めたり、友達や保育士に見せたりする姿がありました。どの色を混ぜるのか、それぞれの色を入れる量の違いで、できる色が少しずつ違ったり変化したりしていく様子ワクワクした表情で楽しんでいました。「その色どうやってつくっ

たの?」「同じにならない。どうしてだろう」と友だちの作った色の作り方を聞いて試してみながら同じ色を作ってみようとする子もいました。これからも絵の具での色遊びや描画なども楽しみながら、色の変化や楽しさを感じられるようにしていきたいと思います。



5歳

プールが始まった時は子どもたちの姿は様々でした。イルカジャンプやワニ泳ぎを楽しんでいた子たちは回数を重ねていく中で「ビート板使いたい」とビート板を使って浮いたりバタ足をして泳いだりと楽しむようになってきました。また、周りから豪快に水しぶきが上がることや顔を水につけることが苦手で「いやだ・・・」

「それはできない」と自分の気持ちを正直に伝えてくる姿もありました。友達の姿に感化されたり、保育士に励まされたりする中で“やってみよう”と意欲がでてくると勇気を出して顔をつけてみました。「やった、顔つけることできた」と大喜びの中、見ている友達からも「すごいね」と声をかけられると友だちの前で、もう1度顔をつけられる姿を見せてあげています。そのことをきっかけに、自ら顔をつけて泳ぐことができるようになりました。プール最終日には、生き生きと自分の得意な泳ぎを披露していました。一人ひとり、自分の決めた目標に向かって保育園最後のプールを思う存分楽しみました。

